

Winny事件の経験を通じて、 エンジニアと社会の関わり を 考える。

新井俊一 freekaneko.com代表



What is freekaneko.com?

- Winnyを開発したことにより逮捕・起訴された東大助手、金子氏を支援する組織
- ◆新井、藤森、桜井の三名の博士課程学生のボランティアワークによって運営
- ◆ 支援金調達と広報活動を担当している
- ⇒新井は金子氏とプログラマ仲間である



何のために始まったか

- ◆ 日本では刑事被告・被疑者へのネガティブな報道が非常に強い
- ◆支援金などの申し出があり、窓口を用 意する必要があった



May 10th, sudden arrest

- ◆TV Newsを見ていて、逮捕を知る
- ◆金子氏がWinny開発者であることは初耳
- - 友人として、プログラマ仲間に呼びかけた
 - 即時に広い層から反応があった
- ⇒当番弁護士などの手配



May 11th, server enhancement

- ◆ Blogやwikiで支援呼びかけページを作成するが、自宅にあるサーバが高負荷のために応答不能となる。
- 参あわててApacheをシャットダウン、設定を変更してmakeする。これによって100hits/secの応答速度になる。
- ⇔弁護人と連絡がつき、正式支援窓口に



May 12th, raising defense fund

- ♥銀行口座を開設して支援金を集め始める
- ◆友人二人を誘い、freekaneko.com開設を決める。手分けしてHTMLを作成。
 - 🛚 ここではpgp, scp, sshが活躍
- ⇒ 昔に独学した刑事法の知識が役に立つ

 □ 入門書で充分な知識が得られる
- ◆19日、サイト開設



なぜ我々が引き受けたのか

- ◆金子氏とは昔からのプログラマ仲間であり、支援しようという気持ちが中心であったが
- ⇒法的倫理的に考えると、明らかに逮捕 勾留は不当であり、刑事訴追も不当で ある
- ⇒ソフトウェア技術者として、研究開発の自由を守る必要がある



私たちが気をつけたこと

- ⇔中立かつ客観的であること
 - □ 特定の価値観や利益を代表しない
- ♥明確な論点を打ち出すこと
 - 法的な問題点に注力し、わかりやすくした
- ◆ 永続性のある活動をすること
 - ■あまり無理をしない、活動範囲を広げない



なにを問題と考えているか

- 事件を検討した結果、刑事訴追には法的に問題があると認識し、それを論点とした
- ◆犯罪として明文化されてない行為を、 警察や検察の独断で訴追している
- ◆ こうした概括的な犯罪認定は、多くの 行為が犯罪となる恐れを与え、経済活動の萎縮につながる



議論しないこと

- ●逮捕、起訴という刑事責任の追及が問題であると考え、他の点は議論しない
- ◆私たちの関心は、開発者の自由が極端 に脅かされないことにある
 - 恣意的な法運用への反対
- Winny自体、ファイル共有、著作権等の 議論には立ち入らない → 泥沼を避ける



人々の反応はどうだったか

- ⇒ 当初から幅広い層(主婦から専門家、経営者まで)の支持を得られた
- ◆ 一ヶ月で1600万円の支援金を獲得した

 □ 一日で100万ヒットを記録した
- ⇒メディアの取材も多く、興味本位のものから、好意的な報道など多様な反応があった



裁判・弁護団について

- ⇒裁判は京都地裁、月二回ペースで開廷中
- ◆ 弁護団は十数名のメンバーを擁する
- ♥裁判では検察官と鋭く対立している

◆ Freekaneko.comは弁護団、金子氏とは、 一定の距離をおき、独立した広報活動 を行っている。



活動の変化

- ⇒当初は支援金の取りまとめ、ウェブサイトの開設など、忙しく活動した
- ◆その後は活動はやや沈静化し、 取材対応などへの対応を中心に
- ♥現在、新たな活動へ向けて準備活動中



Our strategy, pros and cons

⇔良かった点:

- □中立的なため広く支持を集め、批判も避け た
- 実名で行動し、取材なども対応できた
- 素早く行動して、支援金、弁護団などを強化

♥悪かった点:

- メンバーをもっと積極的に集めるべきだった
- Mailing Listなどを作成すべきであった



支援活動のありかた

- ゆ ウェブサイトを開き、中立的に支持を行うというのは、一方的な報道などに対抗する上で必須
 - □ これはもっとマイナーで支持者の少ない事件でも 取るべき戦略である
- 撃難しい価値判断などを考えるよりも、
 まずは動き出すこと、議論に巻き込まれない
- ◆ 支援金活動や弁護団は、今回の世論に後押しされたもので通常は難しいかとおもわれる



Be cool, be logical

- freekaneko.comの一番の成果は、冷静で理知的な活動であっても意義があると実証できたこと
 - ☆党派性でもなく、感情でもなく、理論、事 実、
 - 冷静な利害などにもとづいて動いてOK
- ◆ これをもっと継続的で大きな活動に つなげられるかが目下の課題



エンジニアの社会的活動

- ◆ EFF インターネットでの代表的存在
 豊富な資金をバックに活発な活動を行う。
- ◆ CPSR ボランティアベースの専門家団体
 - 国連など専門家組織ならではの提言活動
- ◆ APC 非営利団体の情報通信支援団体 ■ 日本ではJCAが活動している。
- ●情報倫理学 情報学部の必須科目へ■プライバシ、盗聴、匿名性、安全性、犯罪



わたしたちはなにをすべきか?

- - 専門家団体として交流・教育・労働などの 支援
 - ・ソフトウェア技術者の職域団体がないのは?
 - □ 技術・製品の調査研究、アドバイス
 - 社会のためのソフトウェア開発



今後の活動

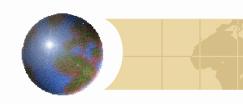
- □ 現在のfreekaneko.comを母体に、より幅広い公益的な活動を検討
 - ■ただし課題は多く難しい
- ♥資金や会員が継続的に確保できるか?
- ♥なにを目標とするか?

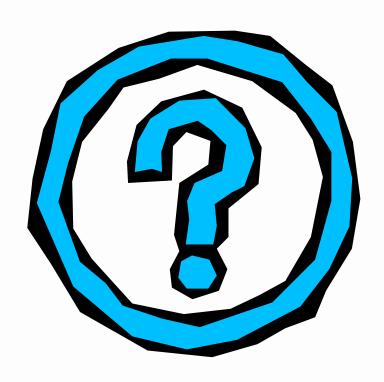


自己紹介

♦新井 俊一

- ☆ freekaneko.com代表
- 有限会社メロートーン取締役社長
- 早稲田大学大学院博士課程
- 中学校卒業後よりプログラマとして働く
- 飛び入学でいきなり博士課程へ進学
- 3 現在は社長と学生とfreekaneko.comを兼業
- タスクスイッチングに苦労する日々





Any Question?